

1 活動の概要

ドミノ牌 (12cm×9cm×1.5cm) をデザインしながら並べて倒したり、積み上げて造形をしたりする活動。準備・企画・完成までの間に、緊張感、達成感、感動を味わうことができ、想像力、創造力、集中力、協調性、交渉力を育むことが期待できる。

2 活動場所

体育館または研修室 (青少年の家で実施する場合)

3 所要時間

3時間～6時間 (並べる時間) ※参加者の実態等に合わせて柔軟に変更することも可能

4 準備

個人・団体	なし
青少年の家	ドミノ牌、デザイン用紙、筆記用具

5 展開例【ドミノ倒し】

グループ分けと
活動場所の確認

- 1 グループ 5～8人程度に分け、3～5m×3～5mの活動場所を確認する。

用具の貸出と
練習

- グループ毎に1箱180個のドミノ牌が入った箱 (約20kg) を受け取る。
- 直線、曲がり方、分岐等の基本的な並べ方の確認する。(裏面参照)

デザインと活動

- 並べるデザイン (形や文字など) を決め、デザイン用紙で並べ方や担当する箇所等を確認して、活動に入る。
- 一箱の牌で足りないときは、新たな箱を受け取り牌を補充する。
※他のグループと共用してもよい。

倒し本番

- グループの活動が終わったら、すべてのグループをつなげて、一つの作品とする。

後片付け

- 表示のとおり数のドミノ牌を箱にしまい、返却する。
※団体の引率者 (責任者) は、数を確認する。

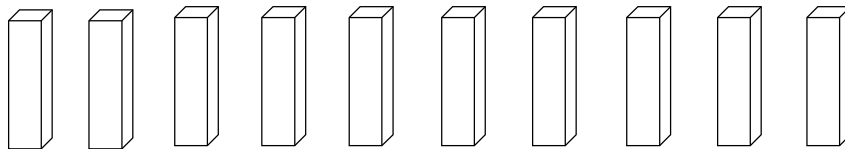
6 留意点

この活動は、共通の目的をもって活動することで、達成感、緊張感、感動を味わい、想像力、創造力、集中力、協調性、交渉力を育むことがねらいである。作品の完成にこだわりすぎないように配慮する。

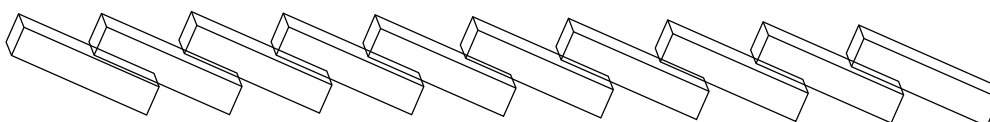
《資料》

◎基本的な並べ方

・直線

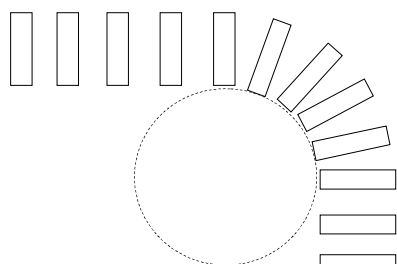


ドミノとドミノの間隔は、5 cmぐらいがいい

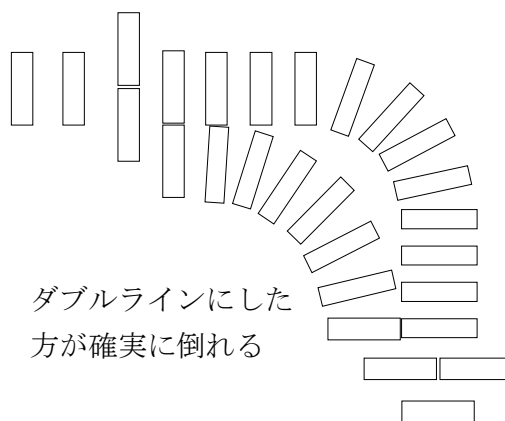


倒れた時の重なり具合は、上半分が見えるくらい

・曲線



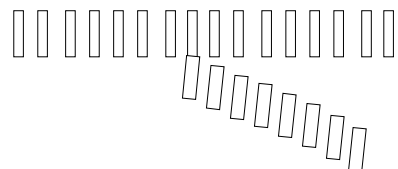
円の外側に沿ってゆるやかに倒れるようにする



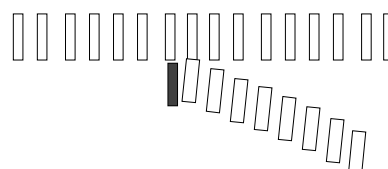
ダブルラインにした方が確実に倒れる

・分岐

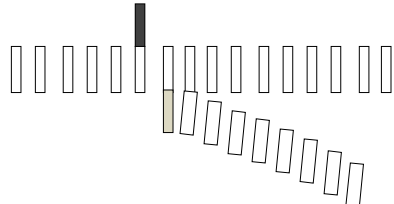
①本線から分岐したいところに本線とは違うラインを並べる



②並べたラインの1個手前に本線と並べてドミノを立てる



③2個並んだドミノの手前、反対側にドミノを置く



④2個並んだドミノをゆっくりずらす

